

災害時の多様な社会調査に対応

当社には、災害・防災に関する住民意識調査等について、多くの実績と設計・実施・分析のノウハウがあります。また、調査専門機関として「情報で社会に還元を」との趣旨で、災害時の情報認知や避難行動などについて自主調査研究し、行政・研究機関・報道等に活用して頂いています。

主なテーマ・目的

- ・防災意識、備え・学習・訓練
- ・災害時の情報伝達・入手
- ・避難行動実態
- ・避難生活課題
- ・復旧・復興ニーズ
- ・災害検証
- ・災害エスノグラフィ、災害アーカイブ

調査対象

- ☞ 住民・被災者
- ☞ 事業者
- ☞ 行政・関係機関
- ☞ 支援団体など

調査方法

- ☞ 個別面接聴取
- ☞ 留置（郵送）
- ☞ インターネット・モニターなど

定性調査・災害記録への対応

- ☞ 半構造化ヒアリング
- ☞ オーラル・ヒストリー、デプス・インタビュー
- ☞ グループ・インタビューなど

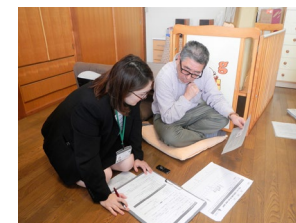
災害調査における2つの課題

迅速性への対応

- 被災者の意識や行動の記憶は、時間の経過とともに曖昧になる
- 外部情報を得ることで、被災者自身の記憶が影響を受ける
- 社会的な関心が高い時期に、災害の本質をとらえ伝える

適切な調査方法の検討

- 被災者への配慮、対策・記録のための調査の必要性
- 平常時の調査手順・準備が困難な環境
- プライバシー保護、情報管理等の重要性



災害時の社会調査に
専門的に取り組む私たち
サーベイリサーチセンターが

- 調査プランのご提案
- 調査票設計
- 調査実施～集計分析
- 報告書作成及びレビュー
など全ての過程でお役に立ちます

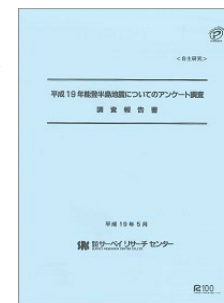
近年の多様な災害調査事例

- 市町村
災害被災地における住民への災害情報（事前情報・避難勧告指示等）の認知状況、避難行動実態調査など
- 府省
・災害時の情報ICTの活用実態・ニーズ調査
・産業被害等の実態調査・情報ニーズ調査
・災害公営住宅ニーズ、帰還意向調査
・風評・風化対策に関する調査
・災害時の外国人観光客受入環境課題調査 など
- 大学・研究機関
・避難行動調査、行政課題調査、廃棄物対策調査など

当社自主調査のご案内

<https://www.surece.co.jp/research/>

当社は、1995年の阪神・淡路大震災を契機に、自主調査研究に本格的に取り組んでいます。近年の調査レポートは、当社ホームページにてご覧になることができます。



お問い合わせは



0120-169-791